

「放課後子ども教室だより」

No. 10

発行：県北教育事務所 2014. 11. 21

富田たのしい教室・とうわどんぐり教室訪問

放課後子ども教室訪問

放課後子ども教室は、子どもたちの安全・安心な居場所作りのために小学校の余裕教室等の活用を図っています。今回訪問した「富田たのしい教室」及び「とうわどんぐり教室」は、学校施設を利用して実施しています。両教室とも地域の実態に合わせ学校の協力を得て取り組んでいます。先生方はとても協力的で、活動中には積極的に声をかけてくれます。学校施設を利用する“よさ”が感じられる放課後子ども教室です。

富田たのしい教室

川俣町（11月7日）



自由遊びの様子

富田たのしい教室は、富田小のオープンスペースを利用して実施しています。富田小全児童の半数が登録しています。川俣町の放課後子ども教室は、宿題と自由遊びが活動の中心です。広々としたオープンスペースや校庭、体育館を使ってのびのびと活動することができます。訪問当日は、室内で将棋・読書・カードゲーム・お絵かきなどをして楽しんでいました。全学年の児童が参加し、異学年の交流も盛んです。学校の先生も子どもたちの活動の様子を見てよく声をかけてくれます。学校と上手に連携を図った放課後子ども教室です。

とうわどんぐり教室

二本松市（11月13日）

とうわどんぐり教室は、東和小の和室・ランチルームを利用して実施しています。スクールバスの待ち時間を利用して、主に低学年児童への絵本の読み聞かせを行っており、学校の教育活動の一環として位置づけられています。訪問当日は、絵本の読み聞かせ、紙芝居、大型絵本の読み聞かせを行いました。この季節にあった内容のお話で、子どもたちは身を乗り出しておいに楽しんでいました。月に一度程度は、簡単な工作をして楽しみます。訪問した時は昔話を聞かせてくれる方が来られなくて皆さんがっかりした様子。子どもたちは、毎週とうわどんぐり教室を楽しみにしています。



大型絵本による読み聞かせ